

## オーガニックセプテンバー 生産者来日イベント 「つくる人も、買う人もハッピーに！ フェアトレード&オーガニックなライフスタイル」のご報告

フェアトレード専門ブランドのピープルツリーを展開するフェアトレードカンパニー株式会社（所在地：東京都世田谷区、代表取締役社長：ジェームズ・ミニ）の母体NGOグローバル・ヴィレッジ（所在地：東京都世田谷区、代表：胤森なお子）主催で、生産者来日イベント「つくる人も、買う人もハッピーに！ フェアトレード&オーガニックなライフスタイル」を9月7日(木)に開催しました。インドのフェアトレード団体「クリエイティブ・ハンディクラフト」（以下、CH）のプロジェクト・オフィサーのサロジ・キラン・カンプルさん、生産管理担当者のロージ・ミネシュ・ソランキさんを招聘し、エシカル協会理事の末吉里花さん、モデルでエシカルファッションプランナーの鎌田安里紗さんをゲストスピーカーに迎え、トークイベントを開催いたしました。



グローバル・ヴィレッジがクラウドファンディングを起案し、121名から支援をいただき、CHのお二人を日本に招くことができました。当日は、クラウドファンディングの支援者のほか、フェアトレードやエシカルファッションに関心の高い多くの方にご参加いただきました。

ビジネスとして貧困問題や環境問題に取り組むフェアトレードの意義や実際に生活が大きく変わり、人生を変えた生産者のロージさんのストーリー、オーガニックコットンの重要性、生産者も生活者も幸せになれる社会についてお話を伺いました。

### 女性のエンパワーメントのための社会的企業

「CH」は、スラム女性に収入と教育をというミッションを持ち、オーガニックコットン製品の厳しい基準である「GOTS認証」も取得している社会的企業です。300人の女性が就労していて、服をはじめとする繊維製品を生産しています。創設者は、シスター・イザベル・マルティンさん。女性たちを経済的に自立させたいとの思いから団体を設立。最初は二人の女性とぬいぐるみを作成するところから始まりました。



■お問い合わせ ピープルツリー広報担当：鈴木 啓美(すずき ひろみ)

電話 03-5731-6671 ファックス:03-5731-6677 メール: [pr@peopletree.co.jp](mailto:pr@peopletree.co.jp)

■報道関係者からのお問い合わせ ピープルツリー広報事務局(ひとしずく株式会社内)担当:せきざわ・こくぼ

電話 045-550-4141 ファックス:045-330-6853 メール: [press@hitoshizuku.co.jp](mailto:press@hitoshizuku.co.jp)



## 人生を変えたCHでの仕事（ロージ・ミネシュ・ソランキさん：生産管理担当）

18歳で17人もの大家族に嫁いだ私は、何も持っていませんでした。夫による家庭内暴力で暗い毎日を送っていても、誰も助けてくれなかったです。とても後悔しました。私の母は貧しく、その母のもとに帰ることもできませんでした。私がなんとか立ち上がろうと思ったのは、2人の子どもの存在でした。「息子に何かしてあげたい」という思いから、創設者であるシスター・イザベルの元へ行き、CHに加わりました。当時は何もできない状態でしたが、CHは必要としているものすべてを与えてくれました。私は生産者グループに入り、縫製の仕事を始めました。仕事ぶりが認められて昇進し、見本作成や品質管理に携わりました。

今では、マネージャーを務めるほどになりました。現在2人の子どもは高等教育を受けて自立し、家を建てることもできました。夫も意識が変わり、私のことを誇りに思ってくれ、今はとても幸せです。私の物語は一例にすぎないですが、高等教育を受けていない私が日本で話をさせてもらっていることを嬉しく思っています。

## CHでの女性に優しい働き方（サロジ・キラン・カンブルさん：プロジェクト・オフィサー）

CHは、子ども対象、女性対象様々なプログラムを持っています。スラムに住む4歳から16歳の子どもが参加する教育支援センターや、働くお母さんが子どもを預けることができる「デイケアセンター」もあります。私も一人の母親で、1歳4か月の子どもがいます。仕事をしている間のは、自宅で義父母が世話をしています。バスで片道1時間の通勤をしているので連れて行くのが大変ですし、義父母が喜ぶため預けています。

「女性研修センター」では、CHに入りたければもまだ技術が足りない女性向けの施設です。4から6か月の期間、研修の費用はCHが負担し、さらに給与を支給しながら、主に縫製のトレーニングをしています。また、貯蓄と融資のプログラムがあり、利息が低く、これによって教育や医療の急な出費に備えられています。

縫製技術が身につかなかった女性のために、「弁当販売」の事業も行っています。毎日500人分のお弁当をつくって、近隣のオフィスで販売しています。また、女性への暴力をなくすために行っている活動として、「健全な結婚についてのカップルで受ける講座」、子ども向けの「性別による偏見をなくす講習」などを行っています。



## アンバサダーのお二人とジェームズ・ミニーとのトークセッション

生産者と消費者をつなぐ存在が必要で、それがピープルツリーの役割。CHとのストーリーをジェームズが紹介しました。「今日着ているオーガニックコットンのシャツはCHのもの。スタッフも着ています。CHとビジネスを一緒に始めたのは4年前。私たちと出会うまで、オーガニックコットンは扱っていませんでした。一緒にチャレンジしようと提案して熱心に取り組んでくれました。その結果、GOTS認証を取るにまでに至りました。」

末吉さんからコットンが抱える問題について紹介。通常のコットン栽培には大量の農薬が使用されており、「農家さんが毎年2～4万人亡くなり、30分に1人の割合で自殺をしていますが。」

鎌田さんからはそのような社会課題がある中で、どのように買い物をするのか紹介。「普通に買い物すると（エシカルなファッションに）出会いにくいというのは普段から感じています。でも今はピープルツリーさんのようなブランドが増えてきているから、ひとつでも取り入れることから始めたら良いですよ。大概は店頭で背景を聞いても教えてもらえないことが多いですが、ピープルツリーさんはちゃんと教えてくれるから、納得して買い物できます。」

「背景を知って使ってもらうのが私たちも嬉しいです。徐々に（エシカルファッションは）増えてきていますが、オーガニックコットンは本当に気持ちが良いです。アンバサダーのお二人が着ているものは、CHがつくった、V&Aシリーズ（注：ロンドンのヴィクトリア・アンド・アルバート博物館とのコラボレーション）。生産者と一緒に技術向上に努めています。鎌田さんのワンピースはオーガニックコットン、末吉さんものは、持続可能な森林の木材からつくったテンセル。排水にも配慮しています。」（ジェームズ・ミニー）



## 生産者とともに作る洋服

「日本やイギリスの人が本当に欲しいものを研究してつくっているのがピープルツリーさんのすごいところだと思います。大概のブランドではトレンドから服をつくりますよね。ほとんどの縫製工場では、袖の担当者の人は袖ばかりを縫い、完成した服を知らないまま。ピープルツリーを生産者を訪ねてネパールとバングラディッシュの工場に行ったのですが、作り手に対してどんな服になって、どんなふうに着ているかを共有していて素晴らしいと思います。生産者さんにきちんと伝えることが、生産者さんのモチベーションにも繋がっているんですよ。」（鎌田安里紗さん）

「私たちは、生産者の人たちにもっとこういう服が欲しいと提案していいですよ。社会に関わっていく消費の形を考えていきたいです。」（末吉里花さん）

## 登壇者全員でのトークセッション

鎌田：「お二人がやりがいを感じるのはどんなことですか？」

ロージ：「仕事を通して自分が成長していくことが楽しいです。」

サロジ：「ソーシャルワーカーとしてつとめていますが、多くの人の人生が変わっていくのを見ることがです。」

末吉：「誇りを持って働くことができている、もしかしたら日本の労働環境より良いかもしれませぬ。地域でもここで働きたいという人が多いのではないのでしょうか？押し寄せて入れない状況にならないのですか？」

サロジ：「一緒に仕事をしたい女性はたくさんいます。受け入れるグループを増やしているので、心配はいらないです。」

会場質問：「研修中にも給料が支払われるとのことですが、いくらくらいですか？」

サロジ：「子どもに必要な経費や生活費を考慮して、1000ルピー（1,700円）が支払われます。」

会場質問：「CHの素晴らしい制度を維持するため、価格を上乗せして支払っているのですか？」

ジェームズ：「農作物と違い、洋服には基準となる国際価格があるわけではありません。なので、上乗せするという発想ではなく、生産者との話し合いを大事にしています。どのようなコストがかかっているのかを把握し、仕入値を話し合います。お客さまが買いやすい値段にしなければいけないので、調整の努力をしています。」

サロジ：「作業に対していくらもらうべきという意識を持ちながら働いています。フェアな収入でない時もきちんと声をあげることができる環境があります。」

## 登壇者からのメッセージ

ロージ：「いつも私たちといってください。」

サロジ：「フェアトレードのものを買って、私たちを支えてくれたら嬉しいです。」

ジェームズ：「もっと女性たちの生活向上をしていきたいと思っています。みなさんよろしく願いいたします。」

鎌田：「背景を店頭で聞いても答えがもらえない場合が多いので、もっとそこがわかるブランドが増えて欲しいです。ピープルツリーさんは25年続けてこられて、きちんと背景を伝えていただけて本当にありがたいと思います。今後も応援していきたいです。」

末吉：「生産者さんの言葉に心を打たれました。活動が続けることを悩んでいた際に、エシカルブランドの創設者の方に、あなたがやめてしまったら問題の一部になる。続ければ解決の一部になると言われたのを思い出しました。人は行動で価値が決まります。お二人のお話を聞いて行動あるのみと思いました。みなさんもぜひ一緒に行動しましょう。」





## <登壇者プロフィール>

### 「クリエイティブ・ハンディクラフト」

インドの大都市ムンバイで、社会的に不利な立場に置かれているスラム地域の女性たちの経済的自立を応援する企業。30年以上の活動を通じて、13の女性縫製グループを運営する。2015年には、オーガニック衣料品の生産ラインをつくりオーガニック認証を受けた。カーストや性、宗教の差別のない人権的で自給持続が可能なコミュニティを作ること目標としている。



**サロジ・キラン・カンブルさん**  
プロジェクト・オフィサー  
**Saroj Kiran Kamble**

CHで働いて4年目。大学で社会福祉を学び、ソーシャル・ワーカーとなる。CHでは子どもと女性のためのプロジェクト（貯蓄プログラムや女性向けの研修）を担当。



**ロージ・ミネシュ・ソランキさん**  
生産管理担当  
**Rosy Minesh Solanki**

CHで働いて20年以上。大家族に嫁ぎ、生活を支えるためCHのトレーニングセンターで縫製の研修を受け、作業グループに加わる。グループのリーダーに昇進し、トレーニングセンターで教えた後、本部の品質管理担当に抜擢され、生産管理を任されている。

### 末吉 里花 (すえよしりか) さん

一般社団法人エシカル協会代表理事

慶應義塾大学総合政策学部卒業。TBS系『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験を持つ。また司会や、レポーター、モデレーターもこなす。フェアトレードやエシカルを中心に活動を展開し、日本全国の企業や高校、大学などで講演、各地のイベントでトークショーを行う。著書に『祈る子どもたち』（太田出版）。新刊『はじめてのエシカル』（山川出版社）。消費者庁「倫理的消費」調査研究会委員（2015.5～2017.3）、東京都消費生活対策審議会委員、日本エシカル推進協議会理事、NPO法人FTSN(Fair Trade Students Network)関東顧問、1% for the Planetアンバサダー、ピープルツリーアンバサダー。 <http://ethicaljapan.org>



### 鎌田 安里紗 (かまだ ありさ) さん

1992年、徳島県生まれ。モデル、エシカルファッションプランナー。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科前期博士課程修了。高校在学時に雑誌『Ranzuki』でモデルデビュー。エシカルな取り組みに関心が高く、フェアトレード製品の制作やスタディ・ツアーの企画などを行っている。著者に『enjoy the little things』（宝島社）。環境省「森里川海プロジェクト」アンバサダー、JICA「なんとかしなきゃ!プロジェクト」メンバー、ピープルツリーアンバサダー、慶應義塾大学SFC研究所上席所員。



### 胤森 なお子 (たねもり なおこ)

グローバル・ヴィレッジ代表。

※グローバル・ヴィレッジは、フェアトレード専門ブランド「ピープルツリー」の母体NGOです。

### ジェームズ・ミニー

フェアトレードカンパニー株式会社 代表取締役社長。

#### ■ ピープルツリーについて [www.peopletree.co.jp](http://www.peopletree.co.jp)

ピープルツリーは、フェアトレードカンパニー株式会社のフェアトレード専門ブランド。アジア、アフリカ、南米の16か国、約140団体と共に、オーガニックコットンをはじめとする衣料品やアクセサリ、食品、雑貨など、できるだけその地方で採れる自然素材を用いた手仕事による商品を企画開発・販売しています。私たちは、手仕事を活かすことで、途上国の経済的・社会的に立場の弱い人びとに収入の機会を提供し、公正な価格の支払いやデザイン・技術研修の支援、継続的な注文を通じて、環境にやさしい持続可能な生産を支えています。



※ピープルツリーは、世界で初めて世界フェアトレード機関(WFTO [www.wfto.com](http://www.wfto.com))によるフェアトレード認証ラベルを取得。また世界で初めて「ソイルアソシエーション」(英国の代表的なオーガニック認証機関)から、途上国で生産されたオーガニック製品のGOTS(オーガニック・テキスタイル世界基準)認証を取得。

#### ■ お問い合わせ ピープルツリー広報担当: 鈴木 啓美(すずき ひろみ)

電話 03-5731-6671 ファックス:03-5731-6677 メール: [pr@peopletree.co.jp](mailto:pr@peopletree.co.jp)

#### ■ 報道関係者からのお問い合わせ ピープルツリー広報事務局(ひとしずく株式会社内)担当: せきざわ・こぼ

電話 045-550-4141 ファックス:045-330-6853 メール: [press@hitoshizuku.co.jp](mailto:press@hitoshizuku.co.jp)